

ぶな

2022年12月号

NO. 525



滋賀県勤労者山岳連盟 比良雪稜会

山に登るということ

S 藤 M 子

雪稜会に入会して4年、この間いろんな山行を体験させて貰いました。お陰様で以前と比べて体力も幾分かつき、登れる山の選択肢も増えました。

そんなこの頃ですが、家族や身近な知人を山行に誘っても、山に興味がない彼等からは、「そんなしんどいこと嫌や」と言下に断られます。そんなしんどいこと…、確かに。私だって昔は、友だちの山の話聞いて、なんで疲れることをするんだろう？と不思議でした。その私が、180度の転換、どうして山を好きになったんだろう…。もちろん雄大な自然～！開放感！は最高——！歩いているときに見ているのは、景色、登山道、自分の足元、考えているのは目的地までの所要時間とかそれに伴ってとる行動。しっかり歩かないと、目的地に辿りつかない。特に一人山行の場合は、当たり前ですが全て自己責任。誰も助けてくれない。最初に計画を立てる時にここでこれが上手く行かなかった場合はどうするか、とかネガティブな状況（もともと怖がりww）ばかりが頭に浮かびます。そんな中で予定時間通りに行動ができた時は心底嬉しい！状況が読めて自分の力量を自分で把握できたということなので。また、仲間が一緒の時は大きな安心感があるし、より頑張ろうと思えます。

話は変わりますが、私のもうひとつの趣味であるピアノ、ピアノの山も越えていきたい。実はこちらの方はさぼってばかりで、ツェルニー40番の⑩で停滞中、今はBachインベンション&シンフォニアを中心に、人格的に優れた先生に根気強く教えて貰っています。私の進捗がかたつむりより遅くてもいつも励まして下さり、同じことを何回聞いても嫌な顔ひとつされません。実際、今のピアノ教則本を普通に進むためには少なくとも毎日2～3時間の練習が必須ですが、仕事から帰ると、もうグッタリ…ピアノに触れることが少なくて…。ああ、この山を越えるのもなかなか難しい…。何でもそうですが、時間をかけないと進展はないですね。ですが欲張りな私は、両方とも続けたくてあがいています。来年は65歳。老いた母の口癖ですが“今日の日が1番若いという気持ちでいるねんー。”私もそういう気持ちで毎日を過ごし、山に登り、ショパ〇を弾く、そんなちょっと遅しくてユニークなグランマ（新成人を頭に7人の孫がいます）になりたいなんて思ったりするこの頃です。（表題からずっこけてしまい、すみません…。）

〈例会山行案内〉

鈴鹿 県境稜線を往く ⑦

小岐須峠～水沢峠

ヤケギ谷から東海展望を経て宮指路岳山頂へ。県境稜線の水沢峠まで往きます。下山は宮妻峠へ。下山口に車デポ必要ですので、車提供可能な方、協力をお願いします。

日程 12月11日(日)

集合：堅田駅 6:00

コース 堅田駅 6:00＝米プラザ 6:05＝宮妻峠ヒュッテ（配車）8:00＝大石橋 8:30～東海展望～宮指路岳 11:26～馬のり岩 11:35（昼食）12:05～水沢峠 14:08～宮妻峠 16:00（車回収）17:00 解散

コースタイム倍率×1.2のペースで計画しています。

昼食時間 30分

歩行時間 7時間 距離 10.6 km 上り下り（累積）997/920m

難易度 体力★★★★☆☆ 技術★★★★☆☆

装備：弁当・飲み物・雨具・行動食・非常食・手袋・地図・ヘッドライト
その他日帰り登山装備

申込先 H 島

締切日 12月5日(月)

中止：前日9時の予報で降雨・強風の場合は中止にします。この場合12:00までに連絡します。

例会案内

〈例会山行案内〉

忘年山行 愛宕山ツツジ尾根往復

登山道からの景観も優れアクセスのよいツツジ尾根は登山者向きコースとなっています。最初の急登を過ぎ、なだらかなツツジ尾根を歩いて荒神峠の急登を登ると表参道に合流します。愛宕神社「年末詣」で1年無事過ごせたことに感謝し来年の運気をアップしましょう。

日程 12月17日(土)

集合： 保津峡駅 8:10

参考 堅田駅 7:09＝7:32 京都駅 7:45＝8:07 保津峡
湖西線新快速・大阪行 嵯峨野線・園部行

コース

保津峡駅 8:10～保津峡登山口 8:16～荒神峠 9:40～愛宕神社 11:35 (昼食)

12:05～荒神峠 13:27～保津峡登山口 14:33～保津峡駅 14:40 (解散)

コースタイム倍率×1.2のペースで計画しています。

昼食時間 30分

歩行時間 6時間30分 距離 9.7km 上り下り(累積) 929m

難易度 体力★★★★☆☆ 技術★★★★☆☆

装備：軽アイゼン・弁当・飲み物・雨具・行動食・非常食・手袋・地図・ヘッドライト
トその他日帰り登山装備

申込先 H島

締切日 12月14日(水)

中止：前日9時の予報で降雨・強風の場合は中止にします。この場合12:00までに連絡します。

〈富士山を見よう〉

白鳥山（山梨県）・浜石岳（静岡県）

空気が澄む冬に雪をかぶった富士山を眺めようという企画です。

1日目の白鳥山（568m）は、東海道線富士駅集合、2日目の浜石岳（707m）はJR東海道線由比駅集合とします。

のんびり東海道、弥次喜多道中の気分で。

（日時） 12月19日（月）富士駅 10:00 集合 柴川駅 13:00 解散

20日（火）由比駅 8:00 集合 興津駅 15:30 解散

（コース）

19日： 富士駅 10:20～〈JR〉～柴川駅 10:53～〈タクシー〉～白鳥山登山口 11:30
～白鳥山 13:00～白鳥山登山口 14:30～柴川駅 15:00

20日： 由比駅 8:00～〈タクシー〉～青少年野外センター9:00～浜石岳 9:30～立
花分岐 12:00～さった峠 14:30～興津駅 15:30

*現地集合、現地解散とします。19日の朝に出るなら、6:53 京都駅発のひかり号で間に合います。公共交通機関利用でも、東海道線ですので電車は頻繁にあります。

*宿も個人で取ってください。清水、富士間で取ればアクセスが簡単です。

*天気判断が難しいです。くっきりした富士山を見たいので曇り予報でも中止にするかもしれません。はずれの時はご容赦ください。

（担当・申込先） H池

（締め切り） 12月10日

（アクセスや宿の相談は早めをお願いします。）

《例会山行案内》

初日の出山行／権現山

2023 年も新年恒例の初日の出山行で、登り初めをしませんか！！

日 程：2023 年 1 月 1 日 日曜日

コース：和邇＝栗原⇒権現山⇒栗原⇒和邇

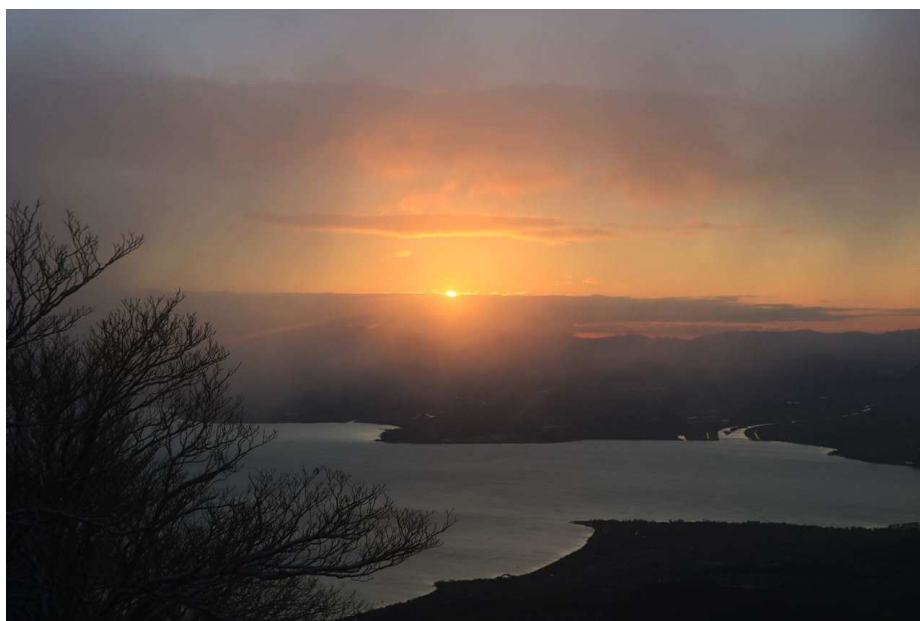
体力★★★☆☆ 技術★★☆☆☆

集 合：和邇川河川敷 午前 4 時

装 備：ヘッドランプ、アイゼン、ストック、防寒着

担 当：K 嶋

締 切：12 月 26 日(月)



2020 年 1 月 1 日のご来光

〈例会山行案内〉

新春山行 武奈ヶ岳

恒例の新春山行・武奈ヶ岳を下記日程で計画しました。
御殿山からの西南稜、武奈ヶ岳山頂からのパノラマを楽しみましょう。

日 程：2023年1月8日(日)

コース：明王院登山口ー御殿山ー西南稜ー武奈ヶ岳(往復コース)

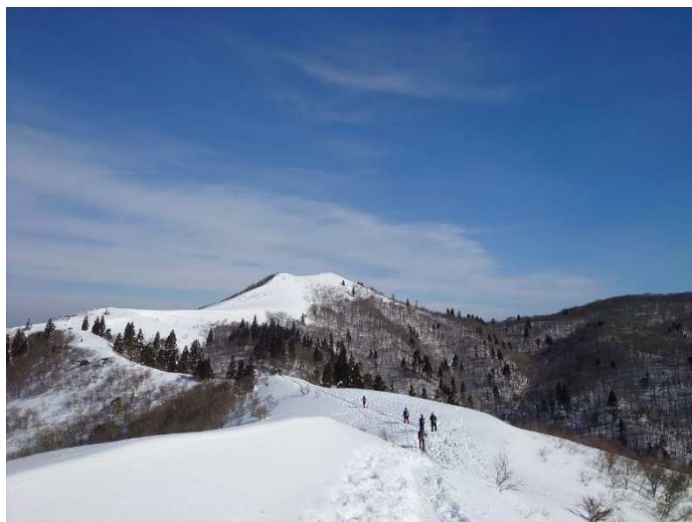
体力★★★☆☆ 技術★★☆☆☆

集 合：和邇川河川敷 7：00

装 備：雨具、地図、磁石、ヘッドランプ、防寒着等々の通常日帰り装備及び、アイゼン、ストック(スノーバケット付)、ワカン or スノーシュー、手袋薄手、厚手(出来れば予備も…)、帽子(防寒用)、ネックウォーマー等々の日帰り冬山装備

担 当：K 嶋

締切日：1月2日(月)



新春山行
(2022. 1. 9)

〈登山祭典報告〉

湖北 山門水源の森～東ヶ谷山（657.5m）～大浦越

〈日時〉 2022年10月23日（日） 天気：晴れ時々曇り

〈コース〉 JR 堅田駅（7:30）＝小野駅・和邇駅＝（バス）＝西浅井町山門・山門水源の森入口－山門水源の森巡り－東ヶ谷山－大浦越－161号敦賀市山中＝（バス）＝JR 和邇駅・小野駅・堅田駅

〈参加者〉 1班 CL N村 SL N尾 K林 K藤 Y崎 K保田（記録） 一般7名
2班 CL K藤 SL H部史 H部美 H浦 I井 一般6名
3班 CL N野 SL K嶋 S藤 S水 S田 一般7名
4班 CL K原 SL H池 A本 F野 O村益 O村智 一般5名
計 会員22名 一般25名 合計47名

7:45 和邇駅出発。天気予報は曇りで夜中に雨が降っていたが朝からまずまずの天気。バスは満員、笑顔が一杯。賑やかだ。途中で3名ピックアップ。

バス車内で会長から挨拶・コース説明と注意事項等があり、続いて班分けの発表。

9:00 道の駅追坂峠。トイレ休憩。ここで受付をした後、手指消毒し乗車。少し風が吹いて肌寒い感じ…。

9:35 山門水源の森入口到着。駐車場で全員揃って体操の後、他の場所からの植物等を持ち込まない様靴の裏を洗い入場。今日は受付の方が居られないと聞いていたが、女性が出迎えてくれる。こちらが行くと伝えたので「山門水源の森を次の世代に引き継ぐ会」の前会長夫妻がわざわざ来て下さったのだ。有難かったです。協力金を支払い、受付を済ます。詳細なパンフレットを全員頂く。

10:05 出発。沢道コースを通る。歩いているとヤマユリ（花は6月頃開花）の周りを網で囲って保護されているのを見かけた。深い色のリンドウ、センブリ。花がちらほら咲いている。足元にはイモリがいた。ひょいと裏返すと体が赤い。アカハライモリというそう。紅葉が始まっていましたが見頃は11月中旬。途中草刈りをされている方と出会う。ご主人の前会長であった。大事な森を「…引き継ぐ会」が守っているそう。感謝しながら歩いていく。

かつてこの土地は炭や薪作りに利用されていた里山で、そのころは手入れがされていたが、その後森は放置されてしまい里山としての環境が失われてしまいました。現在は「…引き継ぐ会」が中心となり保全活動をされているそうです。

10:35 南分岐まで来て、散策コースに行く。途中、四季の森の看板あり。

11:00 北分岐。アカガシが沢山生えている。かつてアカガシは炭の材料として使われたそうです。歩いていくと、サメが口を開けている様なジョーズ岩。

11:40 そして森の最上部まで来る。この辺が最高地点で520m程。

少し戻って守護岩を確認し、ブナの森を見る。紅葉にはまだ早かった。アカガシとブナ、アカガシは温暖な気候を好み、一方のブナは寒冷的な気候を好む、この両方が一緒にあることがあまりないそうです。森に別れを告げて、余呉トレイルの尾根に乗り、東ヶ谷山に向かう。

12:00 日本海(敦賀湾)と琵琶湖の両方が見える景色の広がるところに出る。ここで昼食。少し風があったので風を避けられる場所でほっと一息。来年は野点が出来ればいいですね。全員集合写真を撮る。

12:40 しばらく行くと会長がふと「この道間違っているんじゃないか？」と気が付き、戻った。道が分かりにくくなっている。この後急坂があり、山道らしくなった。雲が掛かり少しぼつぼつと雨が降ったが大丈夫みたいだ。

13:10 東ヶ谷山到着。山頂は狭いので班毎に写真撮影。この東ヶ谷山から先は入る人も少ないらしい。道が分かりにくく、皆で調べながら進む。

13:50 又道を間違えた様で後ろから呼ばれる。1班は引き返した。間違うと誰かが気が付いてくれて教えてくれる。比良雪、連携プレーです！

13:55 鉄塔に到着。少々休憩。琵琶湖を眼下に眺める。日が照ってきた。

14:15・・・あれ？又道を間違った？ 後ろの人がついてこない。でも、こちらで合ってます。2度間違ったせいか信用されてないかも！ ふと見ると熊の爪痕の様なひっかけ傷が木についていた。

鞍部に下りる。大浦越えである。これよりゆるやかな古道を下る。

14:35 ススキの覆う道に出る。でもススキ等はきれいに刈られて歩きやすくなっている。実は4日前に会員4名で草刈りを実施していたのである。

14:45 国道161号脇へ下山。人数点検後 待ってかれているバスまで車に注意しながら国道を1列で歩く。

15:00 バスに乗り込み出発。道の駅追坂峠でトイレ休憩。

15:40 追坂峠からはメタセコイヤ並木の紅葉を見ようと回り道してもらったが、少し色づき始めたところだった。見頃は10日から2週間位後のようだ。それでも並木道は観光客でいっぱいであった。

バスが蓬萊駅に近付く辺りで副会長から締め挨拶。皆さんお疲れ様でした。

ハイキングの様な比較的軽めのコースで皆さんケガもなく元気で下山出来て良かったです。私個人的に山門水源の森は以前から行きたい場所だったので希望が叶いました。公共交通機関が無く行きづらい場所なので、今回バスで行けてラッキーでした。

花も沢山あるので春は見応えがあるのでは？ 何度も訪れてみたい山域でした。

(記：K保田)



東ヶ谷山に続く余呉トレイル尾根の展望地にて全員集合

〈例会山行報告〉

ちょこっとシリーズ 行市山 (660m)

日時 2022年9月25日(日) 晴れ

参加者 4名 CL:K藤 SL・車:N野 会計:S井 記録:N尾

行程 N野車で参加者を最寄りの地点でピックアップして余呉の行市山へ

行市山登山口(毛受兄弟の墓)9:15～林谷山(毛受兄弟の砦跡)9:40～

中谷山(仲之谷砦跡)10:08～別所山砦跡(前田利家の陣跡)10:32～

行市山(砦跡)山頂11:25～12:05(昼食休憩)～南尾根(破線)を下る～

林道に出る12:53～中谷山13:50～14:20(コーヒータイム)～

行市山登山口14:45～帰路に就く 帰大津18時半ごろ

行市山は近江百山に数えられており、その内に登ってみたいと思っていて丁度良い機会なので参加させていただきました。3連休ということで案外参加者が少ない例会となりましたが、絶好の行楽日和となり馬が往来したというなだらかな道が殆どで、羽柴秀吉と柴田勝家が戦った時代の砦跡巡りハイキングを楽しみました。山頂近くからは横山岳、墓谷山、七々頭岳、金糞岳などが良く見られました。帰路は破線ルートはややわかりにくい南尾根を下り約450m地点で林道に出てからしばらく林道を歩き、中谷山にてコーヒータイム休憩などでのんびりして下山。帰り道は逆方向がずっと渋滞でした。しかし我々も北小松までひどい渋滞にあい往路の倍以上の時間がかかりました。運転お疲れさまでした。

<一口感想>

例会山行の行市山は戦国時代の砦跡が多く残る山で、参加者が少なかったです。ちょこっと山行を楽しめました。帰り道でのコーヒータイムで登山の疲れが癒されました。

N野



〈例会山行報告〉

鈴鹿山脈県境稜線を往く ⑤

832m峰～仙ヶ岳～小社峠

日 時：2022年10月30日（日） 晴れ

参加者：CL:H島・SL:N尾・K原・K藤・H浦・S水・K嶋(写真)・O村智・H部史
H部美・O村益（記録） 計11名

行 程：

琵琶湖大橋 米プラザ 集合6:05～大石橋駐車場7:40 出発8:00～
仙鶏尾根分岐8:45～仙鶏尾根9:45～仙ヶ岳（東峰）10:40～仙ヶ
岳（西峰）961m 10:50～御所峠11:23～832m峰 11:35
昼食後出発12:10～仙ヶ岳（西峰）13:10～小社峠13:35～
分岐14:30～大石橋駐車場15:00 現地解散15:15

今回は濱島氏企画による鈴鹿県境稜線縦走の第5弾、前回折り返した832m峰から小社峠までを縦走するコースでした。

尾根道は、鋸の歯のような上り下りの激しく、岩に張り険しい行程でした。

好天に恵まれ大変楽しい登山でした。皆さんありがとうございました。

以上



第23回 比良山系の飲み水水質調査山行 ①コース大橋方面

【日時】 2022年11月3日(木・祝)・晴 【参加者】 CL N村高・K保田・K林(記)

【行程】

- 7:00 和邇川河川敷集合 ②コース参加者と合流。挨拶後、出発。
- 8:00 坊村 県外含めて多くの車がすでに駐車。後からも続々。人気スポット再認識。
- 9:00 牛コバ 彩鮮やかな山肌を鑑賞しつつ、ウォーミングアップとなった1時間。
- 9:40 奥の深谷と摺鉢山への分岐 登りの連続で汗をかき衣服調整、会長 T シャツ一枚になる。
- 10:35 大橋の採水場所 今年も渡渉箇所を無事に通過することができ、ほっとする。
- 10:40 スリパチの水採水。 気温 13.5 度・水温 9.5 度。水質検査に初めて参加の K 保田さん、会長からレクチャーを受けての初採水。
- 11:45 南比良峠 これぞ小春日和の空の下、昼食、のんびり②班の到着を待つ。
- 12:25 ②班と合流、山中での再会は不思議な高揚感があり、わいわい記念撮影。
次なる場所へと出発、背に圧倒的存在感を放つ晩秋の堂満岳。しばし見惚れる。
- 13:25 烏谷山 北東にうっすら見える伊吹・霊仙・御池・・。御在所はどのあたり？との久保田さんの質問に会長の山座同定講座開講・・三上山も一つの座標、面白い！
- 14:00 摺鉢山 尾根にはきっちり赤いマークが並ぶ。迷うことなくひたすら下る。
- 15:00 牛コバ 烏谷山以降誰にも会わず、静かな下山。戻ってきた～。
- 15:10 白滝谷登山口での採水。 気温 13 度・水温 12 度・・大橋より水温が高い。
- 16:10 坊村 朝は苦にならなかった舗装道路の一時間、下りなのにきつかった。
(坊村から次の採水場所まで車で移動)
- 16:55 権現山栗原登山口での採水。 気温 13 度・水温 12.5 度。薄暗い秋の夕暮れ。
- 17:20 和邇川河川敷にて解散。



奥の深谷の渡渉



白滝谷登山口の採水



権現山栗原登山口の採水

<山行報告>

水質検査・放射線測定山行②コース

(日 時) 令和4年11月3日(木・祝) 晴れ

(参加者) K藤(CL)、H池(SL)、F川(測定)、Y口(弥)(装備)、K藤(記録) 計5名

(行程) 和邇河川敷集合(7:00) — イン谷口(7:45) ~ 大山口(8:15) ~
カモシカ台(9:15) ~ 北比良峠(10:15) ~ 八雲ヶ原(10:40) ~
金糞峠(11:40) ~ 南比良峠(12:30) 昼食~荒川峠(13:30) ~
中谷出合(15:30) — 金毘羅神社(16:15) — 和邇河川敷・事務所
(16:45) 解散

7時ちょうどに全員が和邇河川敷に集合し、2コースに別れて出発しました。少し薄曇りの空模様でしたが、徐々に天気は回復し、秋晴れの山行日和となりました。イン谷口の登山口の駐車場はほぼ満杯状態で、狭い駐車スペースに停めるのに一苦労しました。測定機器の準備を整え、柔軟体操をして、いざ登山開始です。川のせせらぎの音を聴きながら、紅葉の始まった森林の中をゆっくり歩き始めました。とても気持ちの良い清々しい気分です。高度が上がるにつれて少し汗をかきませんが心地良い風が気分を和らげてくれます。途中の放射線測定と水採取がちょうど良い休憩時間になります。北比良峠から見える紅葉の山肌と、琵琶湖から舞い上がる雲海との組み合わせが最高です。黄色や真っ赤に色づいた葉に逆光が射し、色彩がより鮮やかに輝いて見えます。みんなで何度も「キレイ」を連発、今日の山行に参加できた幸せ感を満喫しました。



南比良峠でもう一方の①コースのメンバー3人と合流し、8人で記念撮影です。

我々はこちらで昼休み休憩をとりました。

その後、途中の荒川峠では負傷した登山客に出会い、鎮痛薬を提供するという人助けもしました。普段から常備薬を携帯することの大切さを実感しまし

た。

なが〜い下り道を下り終えて、車に乗り込み、やっとこれで終わりかと思いきや最後に過酷な測定地が残っていました。金毘羅神社の急な坂道は本当にこたえました。

全ての測定を終え和邇河川敷に着いた頃には陽も比良の山に沈み、夕焼けの空が広がっていました。



写真提供 K 藤・K 藤

比良雪稜会

2022年度 第23回比良山系の飲み水調査
水質検査結果一覧

採水日 2022年11月 3日
検査日 2022年11月 7日～9日
(検査機関 (株)環境測定サービス)

番号	採水場所 (飲み水場)	一般 細菌 個/mL	大腸菌	亜硝 酸態 窒素 (mg/L)	硝酸態 窒素 (mg/L)	硝酸態窒 素及び亜 硝酸態窒 素 (mg/L)	鉄 (mg/l)	マンガン	塩化物 イオン (mg/L)	カルシウ ム、マグ ネシウム (硬度)	全有機 炭素 (TOC)	pH	味	臭気	色度	濁度	判定
1	大橋の 摺鉢の 湧水	3	不検出	0.004 未満	0.4	0.01 未満	0.005 未満	2.7	16	0.3 未満	7.0	無	無	1 未満	0.1 未満	適合	
2	白滝谷 登山口 の湧水	3	不検出	0.004 未満	0.2	0.01 未満	0.005 未満	3.0	23	0.3 未満	7.5	無	無	1 未満	0.1 未満	適合	
3	権現山 栗原登山口 の湧水	0	不検出	0.004 未満	0.7	0.01 未満	0.005 未満	3.1	27	0.3 未満	7.1	無	無	1 未満	0.1 未満	適合	
4	荒川峠道 の湧水	0	不検出	0.004 未満	0.2	0.01 未満	0.005 未満	2.7	15	0.3 未満	7.2	無	無	1 未満	0.1 未満	適合	
5	金毘羅道 の湧水	3	不検出	0.004 未満	0.4	0.01 未満	0.005 未満	2.6	15	0.3 未満	7.5	無	無	1 未満	0.1 未満	適合	
6	八雲ヶ原 の湧水	3	検出	0.004 未満	0.3	0.03	0.005 未満	2.7	3	0.9	6.8	/	無	9	0.2	不適合	
	水道水質基準値	100 以下	不検出	0.04 以下	10 以下	0.3 以下	0.05 以下	200 以下	300 以下	3 以下	5.8～ 8.6	異常 なし	異常 なし	5度 以下	2度 以下	-	

※ 湧水5ヶ所は前々年・前年に続き、すべて適合の判定。

※ 「八雲ヶ原の流水」は大腸菌が検出され、また色度が前年同様に基準値オーバーで 不適合の判定となりました。

大腸菌は人のみではなく、野生動物の糞便にも含まれており、それらが雨水とともに流れ込むことが考えられます。

登山道の放射線汚染マップ作成のための測定記録票

日本勤労者山岳連盟・比良雪稜会

測定山域名 滋賀 県 比良山系		登山口及び登山ルート イン谷～八雲ヶ原 ～荒川峠～中谷出合→金比羅神社		
測定年月日 2022年11月3日(時間帯 7:50～16:20の間)		①晴 ②雨 ③曇 ④雪		
測定者氏名 F川 連盟・会名 滋賀県連 比良雪稜会		記録者氏名 連盟・会名滋賀県連 H池 比良雪稜会		
測定参加者名 (Y口)(K藤)(K藤)() () ()				
測定機種 ①HORIBA PA-1000 Radi ②				
	標高/登山口から分	北緯/東経	測定結果(μSv/h)	測定した場所はどのようなところか (休憩場所・沢や水の流れの近く・落ち葉が堆積しているなど具体的に)
1	標高m 253 登山口から 測定時間 7:50	北緯 35° 14' 12" 東経 135° 55' 52"	地表 1m 0.094	イン谷口 二股に分かれるアスファルトの車道
2	標高m 404 登山口から 測定時間 8:15	北緯 35° 14' 30" 東経 135° 55' 17"	地表 1m 0.166	大山口 川横、足元は土と石
3	標高m 704 登山口から 測定時間 9:20	北緯 35° 14' 46" 東経 135° 55' 12"	地表 1m 0.133	カモシカ台 木々に囲まれたやや開けた休憩所、土
4	標高m 984 登山口から 測定時間 10:20	北緯 35° 15' 11" 東経 135° 54' 49"	地表 1m 0.104	北比良峠 広い峠、草地、枯れた松の横
5	標高m 922 登山口から 測定時間 10:45	北緯 35° 15' 30" 東経 135° 54' 36"	地表 1m 0.080	八雲ヶ原水場 湿原横林の中、テント場、小さな流れ
6	標高m 896 登山口から 測定時間 11:40	北緯 35° 15' 51" 東経 135° 54' 23"	地表 1m 0.141	金糞峠 木々に囲まれ、足元は土
7	標高m 935 登山口から 測定時間 12:56	北緯 35° 14' 14" 東経 135° 54' 23"	地表 1m 0.073	南比良峠 下草が広がるなだらかな林
8	標高m 989 登山口から 測定時間 13:25	北緯 35° 14' 11" 東経 135° 54' 17"	地表 1m 0.109	荒川峠 林に囲まれた峠、足元は枯葉
9	標高m 561 登山口から 測定時間 14:45	北緯 35° 14' 14" 東経 135° 54' 34"	地表 1m 0.164	荒川峠道湧水 登山道上、大きな岩の下から水が湧き出ている
10	標高m 369 登山口から 測定時間 15:20	北緯 35° 13' 7" 東経 135° 54' 40"	地表 1m 0.120	中谷出合 登山口、アスファルトの車道、谷筋
11	標高m 430 登山口から 測定時間 16:20	北緯 35° 11' 55" 東経 135° 53' 39"	地表 1m 0.092	金比羅道湧水 谷筋、林、アスファルト道路脇

〈2022年度 初級登山教室報告〉

北小松しし岩 ゲレンデクライミング

日時：2022年10月15日(土) 晴れ

講師及びスタッフ：T内(彷徨倶楽部) N森(彷徨倶楽部) K嶋(比良雪稜会)
K口(滋賀山友会)

受講生：S水(比良雪稜会) S藤(比良雪稜会) T本(滋賀山友会) S口(滋賀山友会)

行程：比良元気村の先の駐車場 8：35 出発～9：05 しし岩着

9：30 しし岩(南)クライミング～11：20～しし岩(北)クライミング～13：30 昼食～

14：10 しし岩(北)で垂直下降練習～15：50 下山開始～16：30 駐車場着

〈 講習内容 〉

(1) マルチピッチクライミング

【 しし岩(南)1ピッチ → しし岩(北)2ピッチ 】

- ①リードクライマーがプロテクションをセットしながら登る。登り始める前にゼロピンをセットする。(リードが落下時、ビレイヤーが引きずり込まれるのを防ぎ衝撃を軽減するため)
- ②セカンドがビレイする。セルフはメインロープで取る、右手(引き手)を常にロープから離さない、リードの動きを常に観察してタイミングよくロープを出していく。ロープの残りが少なくなったら「ロープいっぱい」とコールをする。
- ③サードで待機する者もメインロープでセルフを取り、ロープの捌きなどの協力をする。
- ④リードが支点を構築して合図があれば、「〇〇登ります」のコールをし、セルフビレイを外しセカンドもサードも登る。その際、ロープのテンションを確認して弛んでいる状態で登らない。また、クイックドローを回収していく。登り切ったら素早くセルフビレイを取って、「ビレイ解除」をリードに伝える。

- ⑤ 2ピッチめはリードを交替するが、実力差があるため同じ者がリードをする。セカンドとサードは交替した。2ピッチめでリードをビレイする場所(テラス)は足場が狭くロープを出していくのも慎重に行った。

(2) 懸垂下降

【しし岩(北) 頂上から下降する】

- ①セルフビレイを確実に取る。
- ②シングルロープでは下までの長さがたりなかったため、ダブルロープを使用。(オーバーハンド・ノットで結束)
- ③ロープ投下・投げおろす前にロープを二つに振り分けておく。「ロープダウン」とコールして二回に分けて投げおろす。
- ④バックアップを取り付ける・・よじれや重なりがないようにフリクションを巻きつけた
後、引き手でロープ2本を引いてストップがちゃんと効いているか確認をする。(バックアップはビレイデバイスよりも下に取り付ける。)
- ⑤ビレイデバイスを取り付ける・・ハーネスのタイインポイントに結んだ短めのスリングやPASを利用して、身体から少し離れた位置にビレイデバイスを取り付けてから、ロープを2本同時に通す。
- ⑥制動テスト・・手袋を付け、ビレイデバイスを支点到近づけ、引き手でロープを引き体重をかけて停止できるかを確認する。
- ⑦下降開始・・下降する合図をしたら、右手(引き手)を強く引いたまま左手でセルフビレイを解除してロープに付ける。体重を後ろにしっかり預けて岩に直立するような姿勢で時々下を確認して下降する。
- ⑧着地して安全が確保できたら、ロープをビレイデバイスから外して、ロープを整えて次の人に「どうぞ」とコールする。

〈 一口感想 〉

「初級登山教室も来年1月の雪山ハイクを残すのみとなりました。

受講生の皆さんは地図読みやロープワークについて当初に比べると理解と自信もできてきたと考えています。

読図とクライミングは登山の分野は違いますが『危険を回避する上で必要で身体で覚えるもの』ということが理解できれば楽しく安全な登山につながります。

今後も機会を見つけて続けることが大切です。」

(T内)

2ピッチ目でランナウトを嫌ってルートが屈曲気味になってしまったのはちょっと失敗でした。自然の岩相手ではある程度の試行錯誤は欠かせませんが、狙いをできるだけ外さないためには、やはり経験の積み重ねが重要だと思います。

経験を生きた技術として身体化しようと思えば、原理を学ぶことと実際に体験することのサイクルがカギになります。実技の体験と資料や説明を突き合わせて、動作とその意味が結び付き、適確な判断が下せるようになるまで、繰り返し復習していただければと思います。

(N 森)

今回本格的な傾斜での講習でしたが、概ね皆さん理解されていると感じました。セルフビレイもテラスなど落ちると軽症で済まない所はされていました。しかし終了点などでは安堵されたのか忘れる場面もありました。今後は今まで学習した事を忘れないように努めていただき次のステップを目指してもらいたいです。

(K 口)

獅子岩、今までの金毘羅山のゲレンデに比べると難度もアップしているので、受講生の皆さんも少し苦戦しておられたのかなあ…。それでも全員がしっかり登られて、遅く思いました。登山教室もいよいよ後一回となりました。お天気に恵まれた登山教室でしたが、最後まで無事故で終了出来るよう、慎重に行動するよう心掛けたいと思います。

(K 嶋)

初めてビレイ体験をさせて頂きました。ロープが絡ってトップの人の登りを妨げてしまい、ロープの片づけ、運び方からきちんとしなないといけないことを身をもって知らされました。講師&受講生の皆さんには、本当にお世話になりました。有難うございました。

(S 藤)

初めてのしし岩でのクライミングは、なかなかハードなコースだった。少しの出っ張りやくぼみなど、あまりはっきりとしないスタンスが多く、足を置いていて滑らないかヒヤヒヤしながら登ることが多かった。また、手をかけるホールドも縦のクラックに指先を入れて体を支えるなど、三点確保の体勢をどう保持しながら登るか考えながらの登攀だった。足のつま先が痛くなるクライミングシューズが意外としっかりと岩を捉えて登りやすかった事にも感心した。最後の懸垂下降は、壁の形の影響もあるが、体重のかけ方と降りるコース取りが思うようにいかなかった。回数を重ねてスムーズに降りられるように練習したいと思った。

(T 本)

しし岩に場所を移したクライミング最後の実技は、距離も長く手がかりも難しく、ハードだった。特に2回目のクライミングは2ピッチに分けての登りとなり、必死で登っていくと、リードの信森さんが狭いテラスでロープをあげてくださって

た。ありがとうございます。最後、他のチームとロープが重なってしまい、狭い場で跨ぐのに苦労した。ロープでつながっていることで安心して登ることができるが、安全に登るためには周りをよく見て状況を判断しながらの行動が必要であることを改めて感じた。懸垂下降では途中で岩から足が離れてしまい、宙ぶらりんになった。怖くはなかったが、すぐにフリクションを緩めることができず手間取った。ロープの結び方が何度聞いてもわからずモタモタしていたところに比べたら少しは成長できたかな？教えていただいたことがすぐに消えてしまうので、忘れないようにしたい。ご指導ありがとうございました。(S 水)

岩に登る途中で、初めて「怖い」と感じた研修だった。今までの岩より手強いことは覚悟していたが、他の人のクイックドロウにロープが絡まったり、他の人のロープと交差したりといったことは、想定外だった。ギリギリ踏ん張っている体勢からそれらを一つずつ解決していくには、あまりに未熟であった気がする。それぞれ任された持ち場の役割があって、その場で解決するのは自分しかないことにも気づく。いつもより危険を身近に感じることで、すぐにセルフビレイを取るとか、カラビナの安全環のネジの確認を怠らないといった基本の重要性が身に染みたことは大きな収穫だった。

帰って信森講師の資料をもう一度読んだら、私たちがやるべきことをまだまだ任せられずたくさん講師の方々がカバーしてやって頂いてのだと気づく。ありがとうございます。(S 口)



会員及び会員家族 会友の皆様へ

【忘年会のお知らせ】

既にメールでお知らせしておりますが、比良雪稜会忘年会を下記の通り行いたいと思います。

まだまだ制約は有りますが、**3年ぶり**に大いに食べ、飲み、山談義などに花を咲かせ、楽しいひと時を過ごしましょう。

ご家族も誘ってください。会友の方もぜひご参加ください。

記

日時：12月17日(土) 18:30～

場所：お料理 ふじ（藤野食肉食品センター2F）

大津市和邇高城 22-4 （和邇駅より歩3分） tel：077-594-0033

会費：5,500円（食事代・飲み物代等）

- ・食事は弁当(4000円)とします。
- ・酒類の持ち込みは大歓迎です！
- ・例会山行参加回数上位とリーダー回数上位の方の表彰を行います。
また山に限らず自薦他薦のなんでもありで表彰しますので、事務局まで申告ください。
- ・抽選会も行います。景品は お米・採れたて野菜・山用品などを予定。
お持ちの山道具などで不用なものがありましたら、ご提供をお願いします。
- ・会場の感染対策（手指消毒、検温、食事以外のマスク着用等）を十分に行って実施いたします。

申込&締切：メール案内のとおり **11月30日までに**中野事務局長へメール返信。

（「近況と来年の抱負」も合わせて返信ください）

以上

“皆さんお誘い合わせの上 多数の参加で

賑やかに出来ますようにお願いします!!”

※ 尚、全国的にコロナ感染者が増加傾向にあり予断を許さない状況なので、最終的な実施の可否判断は 10日前の12月7日 に行います。

機関誌担当からのお知らせ（お願い）

原稿の書式などについて

機関誌”ぶな”は会員の皆様に原稿執筆、編集を担当していただき、皆で刊行を続けるという方針のもと、多くの方が執筆するため、原稿の書式にバラツキがみられます。

そこで、基本的書式などを下記のようにしたいと思います。

ただし、あくまで基本書式なので、用紙の B5、縦を除いては、多少の違いは、この限りではありません。よろしくご協力をお願いいたします。

”ぶな”原稿の基本的書式など

*用紙 B5、縦（厳守）

*本文フォント

・字体 MS 明朝

・スタイル 標準（太字・斜字ではない）

・サイズ 10.5 p

*余白 上：25、 下：20、 左：20、 右：20 mm

*その他

原稿の目安 例会案内 1 ページ

日帰り例会報告 2 ページ

なお、写真は小さめの物、2枚程度でお願いします。

2022 年度第 8 回 運営委員会報告書

出席：N 村、A 本、N 野（記録）、K 林、K 藤、I 井、H 浦、T 中利、K 嶋、H 野
欠席：F 野、I 東

場所：和邇コミュニティーセンター第 4 会議室、

日時：2022 年 11 月 8 日（火）19 時 30 分～21 時 05 分

1. 登山祭典（秋の公開山行）について（10/23 開催）

1) 参加者人数

- ・会員 22 名、一般 25 名 合計 47 名

2) 公開山行の報告

- ・山行中に体調を悪くした人はいなかった。
- ・途中、コースを 2ヶ所間違った。東ヶ谷山の尾根筋が間違いやすかった。
- ・バス乗車の際に、堅田駅で会員が他の人に声掛けせずにトイレに行き、バスに乗り遅れた。次回からは遅れる場合は必ず他の会員に声掛けする。バスの出発時間に関しては、今回と同様に定刻に出発することにする。（各駅乗車名簿作成により、チェックしたらどうかとの意見もあったが、体調不良等で当日欠席者が出、無連絡の場合、バス発車が遅れ、全体計画が狂ってしまうので、定刻発車とする）
- ・トランシーバーに関して、今回小まめに連絡が入ったので、行動がやり易かった。また、壊れた物もあるので、来期は数台買い増す予定。

2. 比良山系飲み水水質調査・放射線測定山行の報告

1) 各コースの参加者

1 コース) 大橋方面 参加者：N 村高、K 保田、K 林

2 コース) 八雲ヶ原～荒川峠 参加者：K 藤、Y 口弥、H 池、F 川、K 藤

2) 報告

- 1 コース： 途中、渡渉が 2ヶ所あり、大橋近くの丸太橋は老朽化が進み今回は渡れたが、来年は難しいかもしれない。南比良峠には 2 コースよりかなり早く到着した。栗原の権現山登山口には 17 時頃に到着した。
- 2 コース： 八雲ヶ原～金糞峠の道が迷いやすかった。

3. 忘年会に関して

1) 忘年会の実施方法

- 日程は 12/17 (土) で場所は「ふじの」を仮予約。他に適当な場所があれば、N 村会長まで連絡下さい。
- 会費は 5,500 円として、内訳は料理の弁当が 4,000 円、飲み物代が 1,500 円とする。お酒の持ち込みは OK。
- 開始時間は忘年山行の帰宅時間を考慮して、18:30~とする。
- 使っていない登山用具や野菜類、その他の景品の抽選も実施する。
- 例会参加回数、リーダー回数の上位 3 名の表彰。
- 新型コロナウイルスの感染状況を見て、最終的に忘年会を実施するかどうかを 10 日前の 12/7 (水) に決める。

2) 忘年会の案内及び出欠確認

- ふな 12 月号に忘年会の案内を掲載する。原稿は N 村会長が作成し、A 本副会長と N 野が確認する。
- メールによる忘年会の出欠確認および「近況と抱負」の原稿の案内。
メール送付の原稿は N 野が作成し、N 村会長と A 本副会長が確認する。メール送付は 11/14 (月) までに行い、メール回収の期限は 11/30 (水) とする。

4. 各担当より

- リーダー部、遭難対策・技術アップ、会計、労山基金、HP、事務局：特になし
- 自然保護；放射線測定器を使用後に雪稜会で保管するとの事であったが、県連より返却して欲しいとの連絡があり、11/9 代表者会にて返却予定。今後、継続して放射線測定器を使用するが、一年に一回の使用の為に購入は検討せずに従来通り県連で保管する事になった。
自然保護憲章が 30 冊届いたので、事務所に保管した。新しく入会した会員に配布する。
- 機関誌；機関誌「ふな」の編集方法に関して、担当の I 井氏および運営委員より意見が出された。その結果、原稿は原則 B5 版として写真は小さめの物 2 枚までとする。フォント・フォントサイズは特に規定せず、編集は編集担当 CL に任せる。以上、I 井機関誌担当より会員に連絡する。

5. 県連報告

1) 11/9 (水) は代表者会と第 8 回理事会を明日都浜大津会議室で実施予定。

2) ・県連ニュースへの登山祭典に関する原稿は西村会長が作成して、11/15 (火) までに F 野理事に送る。

・2022 年第 1 回代表者会議の議題に関して、A 本副会長より質問あり。

①初級登山教室やステップアップ講座等の来年度については、県連として絶対実施してほしい。ただやるだけでなく、初級、中級、上級等の検定を行ってほしい (県連基準でよい) 各会として受講者のレベルアップとともに、どのレベルにあるか知りたい)

②交流目的の個人山行案内掲載については、反対である。個人山行の管理は各会においても完全には無理。まして他会からの参加となると。事故時県連として責任持てるのか

M 内理事長からの提案で、「県連ニュースに交流山行以外にも、交流目的の個人山行案内を掲載しては。」「一般募集のちらしに、年齢制限を入れてはどうか 65 歳まで」「清掃登山、登山祭典・交流山行 (一般募集が出来ればと思う)」。
以上の提案に関して、運営委員会として疑問を感じる為、代表者会議に出席する N 村会長に意見をお願いする。

3) 次回 12 月の理事会は休会とする。

6. その他

・交通費は 35 円/km です。

・会員動向：現会員数 44 名。

次回 第 9 回運営委員会は 12 月 13 日 (火) 19 時 30 分からです。



2022年12月予定表

1	木		19	月	例会 浜石岳～白鳥山
2	金		20	火	例会 浜石岳～白鳥山 第6回リーダー一部会
3	土		21	水	
4	日		22	木	「ぶな」原稿締切
5	月		23	金	
6	火		24	土	
7	水		25	日	
8	木		26	月	
9	金		27	火	
10	土		28	水	
11	日	例会 鈴鹿縦走⑦小岐須峠～水沢峠	29	木	
12	月		30	金	
13	火	第9回運営委員会	31	土	
14	水		編集後記 テーブルにあったぶな10月号を手にとった夫の「この巻頭言ええなあ」から、会話がはずみました。わが家は、紙派です。 H池		
15	木				
16	金				
17	土	忘年山行 愛宕山 忘年会			
18	日				
2023年1月の予定					
1	日	初日の出山行 権現山			
8	日	新春山行 武奈ヶ岳			
今月号と来月号の当番					
今月号は					
来月号は					



滋賀県勤労者山岳連盟
比良雪稜会

滋賀県大津市和邇今宿 712-1 西村方

TEL&FAX 077-594-0454

E-mail kazuyo-buna@r.river.sannet.ne.jp

HP <https://aquafoal39.sakura.ne.jp>